



市政羅針盤

市長が自ら、市政運営の方針を分かりやすくお伝えします。 〓秘書課 ☎ 36-7117

今月のテーマ 島田市民病院 平成 32 年度開院を目指して！基本設計完了

3月末、新病院の基本設計が完了しましたので、今回は、基本設計の概要と概算事業費について、ご説明いたします。

はじめに事業費ですが、医療機器などを含めた総額で 241 億円を見込んでいます。内訳としては、本体建設工事や外構工事・軟弱地盤対策などに約 196 億円、医療機器など施設整備費に 37 億円、設計・工事監理費等に 4 億円、水路の付け替えなどの土地関連費に約 1 億円、その他、移転費用などに約 3 億円、合計で 241 億円となります。基本計画時の 247 億円と比べ、総額では 6 億円の削減となっています。建設工事全体では 13 億円のコストダウン、医療機器も約 4 億円の見直しを行い、事業費の抑制に努めましたが、既存の救急センターの改修費や浄化槽などの外構工事が増額となりました。



新病院全体イメージ

新病院の建設計画は、7つの整備方針に基づいています。①救急医療に迅速に対応できる病院として、地上 7 階建ての屋上にヘリポートを設置し、救急専用大型エレベーターで救急、手術、重症室へ直結。救急医療の強化を実現します。② 1・2 階の外来・検査部門がひと目で見渡せる広い通路を確保し、患者さんに優しく、わ

かりやすい病院を実現します。③駐車スペースは、現在の 913 台から 1,000 台に拡張し、広いロータリーを整備します。④南海トラフ地震等を想定し、災害拠点病院としての機能を強化します。⑤将来的にエレベーターの設置を可能とするフレキシブルシャフトを各病棟に配置し、医療需要の変化に対応できる建物とします。⑥省電力・長寿命の照明の採用、節水型衛生設備等、環境やライフサイクルコストに配慮します。⑦スタッフ専用の通路や職員の交流・休憩スペースを整備するなど、職員にとっても働き甲斐のある病院を目指します。

設計に際しては、華美や過剰なものは排して、軟弱地盤対策や免震装置など、真に必要な整備などに特に配慮するとともに、病院職員の意見を反映し、患者さんにとっても医療者にとっても利用しやすく、使い勝手のよい病院となるよう工夫しました。



1階玄関フロアイメージ

新年度は実施設計へと進み、29 年度後半からは準備工事が始まります。重点プロジェクトがよいよ具体的に動き出す段階になってまいりました。市民の皆さんのご期待に添えるよう、総力を挙げて、平成 32 年度開院を目指してまいります。市と病院の HP で新病院のイメージ動画を配信しています。ぜひ、ご覧ください。

みんなのひろば

皆さんから寄せられた地域の「ニュース」「イベント」「声」などを紹介します。

北五和地区自治会は、大井川鐵道福用駅に「八高山登山口」の道標を設置し、2月7日に除幕式を行いました。この道標は、高さ 2.1メートル、横 0.7メートルのスギ材で、市や大井川鐵道などの協力を得て製作しました。

八高山は標高 832 メートル。初心者や日帰りのハイキングに適した山で、福用駅から約 2 時間半ほどで山頂まで登ることができます。山頂からは、富士山や南アルプス、駿河湾などの景色を望めます。

今後も福用駅を拠点に、八高山を PR していきたいと考えています。皆さんも、ぜひお越しください。(鈴木曠雄さん：北五和自治会コミュニティ部会)

